

# ལྷ་དྲོ་བདེ་ལེགས། ། ཐུགས་རྗེ་ཆེ

チベット語で  
おはよう・ありがとう

## 【社レポ vol.3】

社会科同好会は毎学期の休暇日または長期休校中に1~2回、フィールドワークを行っています。興味のある人はぜひ社会科の先生に声をかけて参加してみてください！！

今回は2020年2月8日に行った「いろいろな仏教寺院巡り@目黒」について報告します！

安養院寺宝堂という天台宗のお寺で北インド・チベット仏教に触れることができました。アドバイザーさんの説明でたくさんの知識を得ることができました。仏像に触れたり、木製のベッドで横たわってみたりと貴重な体験をしました。また、暗闇の中の御神体を四つん這いになって触りに行ったり、鐘の音でチャクラを浄化したりと滅多にできない体験もすることができました。人骨でできた宝具や神具は格段に目を引くものでありました。

(2年 前田)



・「大白傘蓋仏母」すべての生きとし生けるものに対する廣大無辺な慈悲の心を、宇宙に遍満する大きな傘で象徴する母なる仏です。羽のように見える傘には沢山のお手がついており、おみ足は様々な方角に向けて一歩踏み出しています。

・「大白傘蓋仏母の後ろの壁」この壁は木製ですが、爪でひっかいても傷がつかないような硬い木でできています。また、この木に刻まれている仏たちはそれぞれ違う形をしており、これは親方が見本として掘ったものを弟子たちが模範して掘るという手法がとられているそうです。

・「カーラチャクラマンダラ」ここでは密教の最高神の一つであるカーラチャクラを三昧形曼荼羅で表し、絨毯としています。絨毯の中央の正方形は最高神を表しており、踏んではいけません。(1年 尾崎)



安養院や目黒不動尊様を参拝した後、五百羅漢寺というお寺に訪れた。ご本尊は阿弥陀如来像。お寺の名前の通り、建立当時は500体の羅漢様の像があったが、今は現存する約300体を本堂と羅漢堂に分けて安置している。一体つきに一言ずつ「日常の五心」の一生もの ver.みたいな言葉がついている。それを見て書き留めている人もいた。なぜか鯉？がよく祀られていた。桂太郎の愛人のお鯉さんも祀られていた。

(2年 浅野)

